

## あたらしい たしかな まちづくり

### 心ふれ愛・笑顔いっぱいの元気なまちづくりを目指す

#### 1．2町がめざす地域づくり

地域の歴史的・文化的な結びつきや地勢、住民の日常生活でのつながりから、全体として目指す方向が理解され、具体的に議論が深められる。

（合併することが目的ではなく、自立した、地域の特性を生かした、自治体運営を目指し、今後続けていくことが目的であり、その選択肢のひとつに市町村合併がある。）

#### 2．合併の効果を生かす

住民の多様な行政ニーズに応える

景観、土地利用、環境、水質を守るため、都市計画や環境分野に関する専門知識をもった職員の配置。

広域的な交通体制の整備促進

地域を縦横断する主要道路、名神・国道・JRと結ぶ交通体系の整備。

広域的なまちづくりの推進

子どもたちの発達にあわせた野外活動施設、高齢者の健康増進のための施設、やる気のある農業者を支援する施設などスケールメリットを生かした整備。

行財政の効率化とサービス

- ・総務、企画、会計等の管理部門を統合し、専門職員の確保。
- ・三役や各種行政委員会委員、議員の減、各種計画策定の一本化による経費節減。
- ・類似施設の重複をなくし施設を効率的に活用し、管理委託などにより人件費の削減。

#### 住民の利便性の向上

- ・ 専門図書の充実や共同利用。
- ・ 体育館や文化ホール等の相互利用、イベントへの参加や交流の確保と競技団体の強化。

#### 地域のイメージアップと総合的な活力の強化

- ・ 観光地、地場産業、歴史文化資源などのネットワーク化……地域の存在感やイメージアップ……企業誘致や若者の定着

#### 政策形成能力の向上

- ・ 各種の相談担当、環境保全、ボランティア活動、NPO 支援、福祉サービス、国際交流、男女共同参画、伝統文化など各担当の専任職員の配置と専門知識の習得……住民のよきアドバイザー……住民との協働……住民によるまちづくり

### 3 . 合併による懸念事項の払拭策

#### 住民の声が届かなくなる

窓口担当者の新設や住民代表の参加機会、広報・広聴の充実強化を図る。

#### 名称が消え愛着が薄れる

地域に定着してきた名称などは積極的に残す。  
新しい地域の誇りをみんなで創る。

#### 周辺部と中心部の格差が広がる

新町の建設計画には住民参加、協働の計画づくりとアンケート調査等を計画に反映させる。

#### 行政サービスや負担に差が出る

どの程度の負担が適当であるか、将来も視野に入れ議論する。

#### 役場が遠くなる

情報化の促進を更に図り解消する。

#### きめ細かなサービスができなくなる

専門職員の配置や、職員の政策形成能力の向上など、意識改革を図っていく。